

医薬品安定供給のための設備増強について

～新工場建設及び本社工場増設による二拠点製造体制へ～

中外医薬生産株式会社（本社：伊賀市 代表取締役社長：田山林太郎）は、医薬品の安定供給に向けた製造強化のため、新工場の建設及び今後の本社工場への増設により二拠点体制を構築していくことをお知らせいたします。

① 目的

医薬品の安定供給の強化

コロナ禍で消毒液、風邪薬、解熱鎮痛剤などの需給状況が大きく変動しており、OTC 医薬品、医療用医薬品ともに一部の製品群において供給不足が発生しています。このような環境下において、当社は、今後も環境の変化に柔軟に対応するため、本社工場及び新工場へ設備増強により二拠点製造体制を構築し、災害対策含め必要な医薬品をより安定的供給できる体制を整えます。また、今後のポストコロナに向けて、人生 100 年時代にいきいきと過ごすためのセルフケアに使用できる医薬品の研究開発を加速し、Well-Being（※1）な社会づくりに貢献します。

② 投資額

約 50 億円（新工場の建設及び本社工場の増設の合計）

③ 採用

約 50 名（2023 年から 3 年間での全社合計での予定数）

④ 増産効果

外用液：年間 **1,000 万本** 錠剤：年間 **10 億錠**（それぞれ新工場及び本社工場での合計）

▼新工場外観（正面）



<本件に関するお問い合わせ先>

中外医薬生産株式会社 担当：北川 〒518-0131 伊賀市ゆめが丘 7-5-5 TEL:0595-21-0120 FAX:0595-21-0365

新工場の概要

名称	中外医薬生産株式会社 みどりヶ丘第二工場		
所在地	三重県伊賀市西明寺 3 1 6 0 番地		
3 階建て 鉄骨造			
敷地面積	8,649 m ²	延床面積	7,384 m ²
建築面積	2,826 m ²	高さ	21m
竣工	2023 年 3 月	本格稼働	2023 年秋

新工場の特徴

① 最先端の設備機器を導入

従来比で設備機器をオートメーション化することで、生産工程の省力化を図る。また重量物の搬送について機械化を行い、作業員の作業負荷軽減を図る。危険物である消毒用アルコールの取扱のため、建物を耐火構造の防爆仕様とし、安全性の高い製造ラインにより消毒用アルコール等の感染対策製品の製造を行う。また本社工場との連携により感染拡大時には生産能力の拡大を図れる体制とする。



② 従業員にも優しい工場に

当社従業員の約半数を占める女性が働きやすい職場を目指し、女子更衣室にはパウダールーム(下図)を整備するなど EVP (従業員価値提供) の向上にも取り組む。



③ レジリエントな生産拠点として BCP 対策

BCP 対策のため、本社とみどりヶ丘工場の 2 拠点体制を構築し、レジリエンス (※ 2) の向上を図る。両工場ともに複数の幹線道路に近接しており、近畿・中京圏の中間に位置するなど交通アクセスに強い地域の強みを活かす。



当社は研究開発型 OEM を得意としており、特に製造について、原料・資材の選定調達から製造、品質管理まで一貫した製造体制を有することを強みとしています。

今後も地域に根差した医薬品メーカーとして、Well-Being (※ 1) な社会づくりに貢献します。また地方での高度化人材の活躍の受け皿となるべく、新たなチャレンジを続けてまいります。

※ 1 Well-Being : 「ウェルビーイング」(well-being) とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い言葉です。世界保健機関 (WHO) 憲章の前文では、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態 (well-being) にあることをいいます (日本 WHO 協会 : 訳)」とされています。

※ 2 レジリエンスとは、困難に直面した状況でうまく適応する能力、適応する過程、そして適応した結果を意味します。当社の場合、災害発生時に両工場間で社員・資材原料・製造等を融通しあうことで早期復旧を目指します。

<本件に関するお問い合わせ先>

中外医薬生産株式会社 担当 : 北川 〒518-0131 伊賀市ゆめが丘 7-5-5 TEL:0595-21-0120 FAX:0595-21-0365